

～子どもからおとなに伝えたいこと～

2014年の幕開けです。1994年に日本が「子どもの権利条約」を批准して20年となります。今年は、さまざまところで子どもの権利に関する催しが予定されています。

さて、昨年の人権作品展（11月）の会場に、「子どもからおとなに伝えたいこと」コーナーを設けたところ、たくさんの意見が寄せられました。まずは、おとなにわかかってほしい気持ちを紹介します。

- 公園に、はばのせまいうんていを作ってほしい  
公園の草をぜんぶぬいてほしい
- いきたくない所にいきたくないって言うだけで、おこらんといて
- ケータイの中をかってに見るのはやめてくれませんか？
- 子どもにだって、子どものつきあいがあるんです
- あまりつよくおこらないで
- 何もいわずに子どもの意見を真剣に聞いてほしい



いかがですか？おとなには、おとなの気持ちや事情もあるので、話し合いができればいいですね。

次に、おとなへの感謝の気持ちを紹介します。本当にたくさんあって、びっくりしました。

○おかあさん、だいたいだいすき。おとうさん、いつもあそんでくれてありがとう

○いつもありがとう  
ママのごはん大好きだよ

○いつも家のしごとやごはんを作ってくれてありがとう。ママがいてくれるから元気でいれるよ

○いつもワガママきいてくれてありがとう。ふだんから言えないけれどありがとう

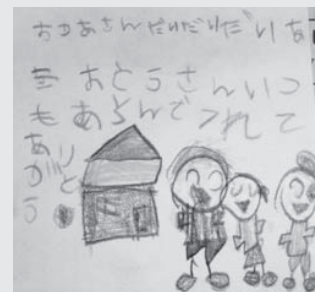
○ばばへ、いつもおしごとがんばってくれてありがとう

○私のために一人で働いて育ててくれてありがとう

○いつもありがとう。はずかしいから言えないけれど

○私たちのためにむりをしないでほしい

○おとなは子どものために仕事をして、すきなものをかってくれる。こどもからしておとなは「ヒーロー」的そんざいだ



こんなにたくさんの「ありがとう」のこぼれをいただいて、おとなとしてうれしくなりました。

【問合せ】泉南市子どもの権利に関する条例事務局  
(人権教育課 ☎ 483-3672 / FAX483-7306 /  
e-mail:jinkenkyouiku@city.sennan.lg.jp)